

ことひら

第29号

平成30年2月

発行:香川県琴平町議会

議会だより



12月議会

12月定例会	2
一般質問	4

平成28年度一般会計歳入歳出決算などの認定 平成29年度一般会計補正予算など14議案を可決

平成29年12月定例会は、12月12日から22日までの11日間の会期で開催しました。

継続審査としていました平成28年度一般会計歳入歳出決算等9議案を認定することに決定しました。また、県人事委員会の勧告に準じた給与改定に伴う人件費の増額、土木災害復旧費の増額等を行う一般会計補正予算など12議案を可決しました。

さらに、議員提出議案として、道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書及び議員派遣の2件を可決しました。

一般質問では7人の議員が本町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について町長や教育長にいろいろな角度・視点から質問しました。

■ 平成28年度会計別決算状況 (千円未満切捨てで表示しています。)



会計名	歳入決算額 A	歳出決算額 B	形式収支 A-B=C	翌年度へ繰り越すべき財源 D	実質収支 C-D	
一般会計	45億4,092万2千円	42億6,602万7千円	2億7,489万5千円	1,760万8千円	2億5,728万7千円	
特別会計	学校給食	3,460万1千円	3,440万3千円	19万7千円	0千円	19万7千円
	国民健康保険	13億6,786万5千円	13億781万円	6,005万4千円	0千円	6,005万4千円
	下水道	2億8,552万2千円	2億8,199万9千円	352万2千円	0千円	352万2千円
	駐車場	1,481万2千円	1,392万7千円	88万4千円	0千円	88万4千円
	介護保険	12億1,025万8千円	11億4,536万5千円	6,489万3千円	0千円	6,489万3千円
	後期高齢者医療	1億5,791万5千円	1億5,635万9千円	155万6千円	0千円	155万6千円
	温泉事業	3,427万4千円	3,312万6千円	114万8千円	0千円	114万8千円
計	31億524万7千円	29億7,298万9千円	1億3,225万4千円	0千円	1億3,225万4千円	
合計	76億4,616万9千円	72億3,901万6千円	4億714万9千円	1,760万8千円	3億8,954万1千円	

水道事業会計	収益的収支	2億9,158万7千円	2億5,110万4千円
	資本的収支	6,000万円	1億4,980万8千円

■ 平成29年度12月補正予算



会計名	補正額	補正後総額
一般会計	△1,092万円	47億8,469万9千円
国民健康保険特別会計	14万6千円	14億1,865万3千円
下水道特別会計	△405万8千円	2億8,925万7千円
介護保険特別会計	333万6千円	12億4,754万円
水道事業会計(収益的支出)	119万3千円	2億7,323万3千円
水道事業会計(資本的収入)	△510万円	5,490万円



議案の審議結果

平成29年12月定例会

議案名等	議員名											議決月日		
	議席番号			1	2	3	4	5	6	7	8		9	10
	賛成	反対	採決結果	山神 猛	別所 保志	吉田 親司	豊嶋 浩三	安川 稔	渡辺 信枝	片岡 英樹	今田 勝幸	山下 康二	眞鍋 壽男	
平成29年9月定例会 議案第1号	8	1	認	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	12/12
平成29年9月定例会 議案第2号	9	0	認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
平成29年9月定例会 議案第3号	9	0	認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
平成29年9月定例会 議案第4号	9	0	認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
平成29年9月定例会 議案第5号	9	0	認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
平成29年9月定例会 議案第6号	9	0	認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
平成29年9月定例会 議案第7号	9	0	認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
平成29年9月定例会 議案第8号	9	0	認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
平成29年9月定例会 議案第9号	8	1	認	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	〃
平成29年9月定例会 議案第18号	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
平成29年9月定例会 陳情第1号	(閉会中の教育厚生常任委員会継続審査)													
平成29年9月定例会 陳情第2号														
議案第1号	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/22
議案第2号	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第3号	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第4号	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第5号	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第6号	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第7号	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第8号	8	1	可	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	〃
議案第9号	8	1	可	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	〃
議案第10号	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第11号	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第12号	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	香川県広域水道企業団議会議員の選挙											12/12		
陳情第1号	9	0	採	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
陳情第2号	1	8	不採	—	×	×	×	×	×	×	○	×	×	12/22
陳情第3号	1	8	不採	—	×	×	×	×	×	×	○	×	×	〃
議案第5号	9	0	承	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/14
発議第1号	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/22
発議第2号	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

採決結果 ※ 可…可決 承…承認 認…認定 採…採択 不採…不採択
 ※ ○…賛成 ×…反対 —…議長 (議長は可否同数の場合のみ表決権があります。)

ズバリ 町政を問う



(12月定例会の風景)

A

町長 来年度から「大せんだん」の中長期的な管理方針を策定する方向になっていく。従って天然記念物である「大せんだん」の保護のための土地であるという事を最優先にしたい。観光業界からの要望があるときには管理計画に従った「大せんだん」の保護が完了した時点で検討したい。

Q

吉田 観光にとって最高の立地条件の場所を封鎖して早4年。未だ手付かずの状態で放っているのはどういふ事なのか、観光業界からバス乗降場復活を望む声をよく聴く。私、3度目の質問だが無策も甚だしい。

A

町長 事業展開が年々厳しくなってきたと認識している。ほぼチケット完売に近い状態ではないと、収支が黒字にならない状況である。何よりチケットの売れる役者の招聘、そして販売力の強化、収入源の確保と経費の精査を行いたい。まずは本町観光の大切な資源であり9億8千万円と推定される地域経済の活性化の為に、これまで行っていない一般財源の投入も含めながら、様々な打開策を考えていきたい。

Q

吉田 本年度で33回を迎えたこんぴら歌舞伎公演、公演事業基金は7年間で7千万円も失っている。先人が積み立てた財産をゼロにするのも時間の問題である。今後のこの事業の安定した継続方法と根本的な現状の打開策を問う。



吉田 親司 議員

◎こんぴら歌舞伎の
今後の事業展開は
◎旧町営バス乗降場跡地
どうする



渡辺 信枝 議員

◎琴平町公共施設等
総合管理計画は
◎どうなるの
今後の幼稚園・保育所

Q 渡辺 今後の課題として、個別の施設ごとに計画し実行する必要ありとある。このまま、老朽化したまま放っておくのか。施設計画期間が10年ならいつまでに計画を作って、10年後はどういう風になるのか。

A 町長 平成32年までにそれぞれの個別計画を策定し、それに基づき廃止を含めた整理・縮小・統合を行っていききたい。

Q 渡辺 平成32年までに個別施設計画を策定するには、いつ頃からの課が担当となり、どのように取り掛かっていき、どのように進めていくのか。

A 町長 まずは現状を把握し、担当課で調査。その上で各課ごとに各施設の個別計画を立て施設の在り方を見直していく。

Q 渡辺 幼稚園・保育所については、まず、関係者との会や庁舎内での下打ち合わせが大事だと思いが関係者や庁舎内で、打ち合わせを何回したのか。

A 町長 子ども子育て会議を開くにあたり、町としての方向性と、その案を示した上でご意見を頂かなければと考えている。庁舎内での協議は、福祉課・生涯教育課で各課内の協議を数回行っており、今後、それぞれ案を持って総務課財政を含めた協議をする予定である。



豊嶋 浩三 議員

◎『琴平町ひと・まち・しごと創生総合戦略』
関連の町長答弁に
おいて、効果を実感
できるものがあるのか

Q 豊嶋 新規及び後継就農者増を見込んだ産学官連携など積極的に取り組んでいないのか。

A 町長 産学官連携は行っていない。

Q 豊嶋 創業支援、伝統工芸などの技術継承育成支援は行っていないのか。

A 町長 現在、行っていない。

Q 豊嶋 空き店舗対策事業は進んでいるのか。

A 町長 商工会の事業に任せている。

Q 豊嶋 琴平町景観条例はいつできるのか。

A 町長 景観条例制定の前段として、住民及び事業者の理解を得るための説明会を30年度に行う。

Q 豊嶋 人口増加の為の婚活事業は推進しているのか。

A 町長 積極的な婚活事業でなく、前段の出会いづくりしか行っていない。

Q 豊嶋 教育、生活、観光整備など、より良い都市計画策定の為に町内道路の交通量調査はすべきではないか。

A 町長 交通量調査よりも道路改良の為の調査をしたい。

追記 9月議会一般質問の補足説明

私の9月議会一般質問において、石井神社が学校新設の候補地と誤解された方がおられました。町の検討委員会の議論で、場所を特定した検討を行ったこと自体、まったく根拠とならないものであることを、ご理解頂きますようお願い申し上げます。



別所 保志 議員

◎観光まちづくり事業を行政が支援する制度はあるのか
◎農業促進の補助事業はあるのか

別所 ①観光等、住民目線での取り組みに対する支援は②慢性化している道路の渋滞や安全な歩道の確保は③ベッド等でおむつの交換のできる場所はあるのか。

町長 ①地域活動活性化助成金という制度があり、住民との協働により魅力ある町づくりを推進するための公益的な活動に対して補助金を交付している。②道路の渋滞解決は県を通じて国に強く要望活動を行っている。③おむつの交換のできる場所は一之橋公園、JR琴平駅のトイレにある。来年度以降、おむつが交換できるトイレの増設は優先順位を決めながら今後検討していく。

Q

別所 農業従事者の減少や高齢化に伴う農業労働力の低下、混住化の進行や耕作放棄地の増加、新規就農者に対しての支援や政策は、強い農業づくりへの補助事業や制度、規模拡大や経営の多角化など経営発展に必要な支援政策は。生産、加工、販売、地元ブランドの開発等で付加価値をつけ農業を活性化し、農業経営6次産業化や異業種との連携による経営発展などは考えているのか。

A

町長 瀬戸内中讃定住自立圏形成推進委員会にて、6次産業化推進交流プロジェクトを実施すべく協力機関として圏域内の商工会議所、連携協定の金融機関、公益財団法人香川産業支援財団、香川県よろず支援拠点と協力し、農業者と加工販売業者とのマッチングを行っていく。



片岡 英樹 議員

◎健康寿命と医療費削減の対策を
◎琴平町公共施設整備構想を早急に策定すべきではないか

片岡 小・中学生のインフルエンザ接種助成制度の導入を。中学生の血液検査に胃のピロリ菌検査を。また、成人の胃力メラ検査に対する助成を。腹部超音波検査項目を健康診断に追加し、ガン早期発見率向上を。

町長 ご指摘を勘案しながら何がより有効であるかを判断し、前向きに、また今後の検討課題とさせていただきます。

Q

片岡 「いつ学校が出来るのか？」まちづくりの設計や人口対策が遅れている。

必要最低限の公共施設の整備、すなわち幼稚園・保育所の整備統合、小学校・中学校・町役場の庁舎、おおむね10年程度でどの順にどう進めていくか、年度ごとに目的を定め、計画的に整備できるよう琴平町公共施設整備構想を早急に策定すべきではないか。

財政的なりスクを軽減し、これからのまちづくりをしていく指針となるのではないのでしょうか。もう行き当たりばつたりの行政運営から脱却し、戦略的に計画的に運営するべきではないか。

A

町長 まずは全体的な総合管理計画に基づき、年度がかわるころには、各施設の個別計画の準備を進めて平成32年までには立てていく必要と考えている。優先順位は、まずは、中学校、次が、小学校、その次が幼保の就学前教育と役場の庁舎。一つずつ進めていく。



今田 勝幸 議員

◎米直接支払い交付金廃止中止
と町農業の六次産業化推進を
◎介護保険の高齢化に伴う自然
増削減中止し公費負担増やせ！
◎公文書偽造詐欺事件議決議案実行を

Q 今田 TPPや日欧EPA推進へ農協など解体、農業競争力強化支援の名で米直接支払い交付金廃止。深刻な農業後継者問題、自給率向上へ米直接支払い交付金廃止中止と町農業の六次産業化推進を要求。

A 町長 全国町村長会も米の直接支払い交付金財源を残し、水田農業・農家経営安定を政府に求めている。六次産業化は、地域資源を最大活用した商品開発と販路拡大で、地域の産業振興と魅力あるまちづくり推進する。

Q 今田 介護保険は構造的に、サービス利用が増えたり、介護職の労働条件を改善すれば直ちに保険料・利用料に撥ねかえる欠陥がある。高齢化に伴う自然増削減を中止すべきで公費負担割合を増やすことを求める。

A 町長 介護保険自然増対応には、国の財源は欠かせない。町村長会でも決議した。労働者への処遇改善は、町村長会を通じ国費投入を要望する。

Q 今田 公文書偽造詐欺事件の「勝訴」と「町民に負担をかけない」町議決議案の実行を求めて三度目。この間の経過と今後の方針を。

A 町長 現在、議決議案の協議会に私を含め特別職、関係課、職員組合、親和会から出席承諾。議会皆様のご理解いただければ早期開催できる。



眞鍋 籌男 議員

◎小野町長
あなたは間違っている

Q 眞鍋 町営智光院温泉の加水禁止に関して、町長は、施設側の判断に委ねていると言うが、それなら水道水をいくら加水してもいいと考えているのか。

A 町長 温泉法に基づき、施設側の判断により個別に対処するものと考えている。

Q 眞鍋 山下前町長は、平成10年、琴平町に温泉郷をつくることを夢見たんですよ。だから温泉水（源泉）に水道水をまぜて加水してはいけないと条例化したのである。

「水及び湯を混入して、成分を低下してはならない」しかし、小野町長は、平成24年12月15日に、この山下前町長が作った条例をなくしている。要するに、いくら加水してもいいと言っている。小野町長、あなたは間違っている。

又、加水問題が発覚した時、山下前町長は自分の責任を認めたのか、30万円は町に支払うとまで言っていたが、小野町長は受け取らなかった。

なお、温泉事業に関して約2億円も使って、最終的にドブに捨てたようなものである。あやふやに葬ってはいけない。

A 町長 加水の禁止という条例の一行をのけたのは、温泉法に基づいた運用をすることが義務と考えている。

又、約二億円を投入した事業が最終的には源泉としての機能が果たせなかったことは、非常に重大なことと考えている。

お知らせ

議会を見に来ませんか？

12月定例会は11名の方が会議を傍聴されました。



本町議会では、定例会を3月、6月、9月、12月の年4回(臨時会は随時)開催しています。会議の当日、傍聴人受付簿にご記入いただき、役場3階傍聴席入口よりご入場ください。

**3月定例会は
3月5日(月)に開会します。**

琴平町内で撮影した四季折々の行事や風景など「ことひら議会だより」の表紙にふさわしい写真を募集します。あなたの一押しの写真が表紙を飾るかも。ご応募お待ちしております！



詳しくは議会事務局(☎75-6713)までお問い合わせください。

平成30年3月定例会日程(予定)

月	日	曜日	会 議
3	5	月	本会議(提案理由説明等) 9:30~
	6	火	本会議(一般質問) 9:30~
	7	水	本会議(一般質問) 9:30~
	8	木	総務産業経済常任委員会(議案審査) 9:30~
	9	金	教育厚生常任委員会(議案審査) 9:30~
	10	土	
	11	日	
	12	月	予算審査特別委員会(議案審査) 9:30~
	13	火	予算審査特別委員会(議案審査) 13:00~
	14	水	予算審査特別委員会(議案審査) 9:30~
	15	木	予算審査特別委員会(議案審査) 13:00~
	16	金	予算審査特別委員会(議案審査) 13:00~
	17	土	
	18	日	
	19	月	予算審査特別委員会(議案審査) 9:30~
	20	火	予備日
	21	水	
	22	木	予備日
	23	金	本会議(委員長報告、採決等) 9:30~

会議録もご覧ください

議会だよりでは、紙面の都合により内容を要約してお伝えしています。質疑・答弁の詳細は、会議録に詳しく掲載されていますので、ぜひご覧ください。会議録は町ホームページ内、議会欄、会議録検索システムでご覧になれます。

[琴平町議会](#) [検索](#)



表紙の写真

2月上旬に町内は大雪になりました。雪化粧の金刀比羅宮大門です。

(写真提供 富田 正幸氏)

編集後記

本号編集会議は、まさに町内が何十年ぶりの大雪に見舞われた後に開催しました。数日間の冷え込みで、路面凍結が続ぎ、農作物の被害や皆様の体調の管理を編集委員で心配しておりました。とは言え、自然の猛威には対応の限界があり、夏季のゲリラ豪雨とともに、どこまで対策準備しておくべきか、悩ましいところです。

自然災害は発生を防ぐことはできませんが、「もしも」の時に被害を最低限にとどめる努力は、政治の仕事とあらためて認識いたしました。皆様、ご自愛のほどお祈りいたします。



(片岡)

発行責任者		議長	山神 猛
議会広報編集特別委員会		委員長	眞鍋 籌男
		副委員長	豊嶋 浩三
片岡 英樹	渡辺 信枝	吉田 親司	別所 保志